

Stage3 Snow Spoons (雪のスプーン)

作・ジャン・バーチェット、サラ・フォーグラ
絵・ジョン・スチュアート

< 読むまえに >

- お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話しましょう。
- ・表紙と裏表紙を見て、この本に書かれていそうなことをお子さんと話しましょう。
 - ・このお話にはだれが出てくるでしょう。
 - ・このお話にでてくるひとたちの話を、まえにも読んだことがあるかな。
 - ・このお話にでてくるひとたちについて、どんなことを知ってるかな。

< 読んでいるときに >

- 自分のスピードで読めばいいよと、お子さんにいってあげましょう。
読みながら単語を指さしてみようと、お子さんに提案してください。
お子さんがつかえたときは、次のようにうながしてお子さんを助けてあげてもいいでしょう：
- ・ことばを声にだしていってごらん。
 - ・ここにはどんなことばが合うかな。
 - ・絵を見るとわかるよ。

< ひっかかることば >

ここにあるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

snow 雪
have 持つ
said 言った
out そとに
biggest いちばん大きい
stood 立つ

[p. 2]

お話にでてくるひと
マックス
キャット
タイガー

[p. 3]

マックスとキャットとタイガーは、雪の中にでかけました。

[p. 4]

「そりがあったらなあ」、タイガーが言いました。

[p. 5]

「あるよ」、マックスが言いました。
「スノウスプーンがあるよ！」

[p. 6]

三人は、ボタンを押して……

[p. 7]

「最高！」

三人は、スプーンの上にすわりました。

タイガーが、斜面をすべりおりました。

タイガーは、大きなジャンプをしました。

[p. 8]

「わーい！」

キヤットが、斜面をすべりおりました。

キヤットは、もっと大きなジャンプをしました。

[p. 9]

「いちばん大きなジャンプをするよ」、マックスが言いました。

[p. 10]

マックスは、雪のスプーンの上に立ちました。

マックスが、斜面をすべりおりました。

[p. 11]

<ヒュー！>

マックスは、大きなジャンプをしました。

マックスは、高く高く飛びあがりました。

[p. 12-13]

マックスは雪にドシンとぶつかりました。そして……

[p. 14]

<ピシャッ！>

マックスは、雪のスプーンから落ちました。

[p. 15]

「ぼくが、いちばん大きなジャンプをしたぞ！」、マックスが言いました。「ぼくの勝ちだ」

[p. 16]

「ぼくが、いちばん大きなジャンプをするぞ」、タイガーが言いました。

「いいえ、わたしよ」、キヤットが言いました。

< 読んだあとで >

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。

こんな質問をしてみましょう：

- ・雪の中で遊ぶのに、どうして子どもたちは小さくなったんだろう？
- ・マックスは、どうやっていちばん大きなジャンプを跳んだんだろう？
- ・この本を読んでおかしかったところはどこかな？
- ・この本を読んでどんな気分になった？

この話をまた読んでみようとお子さんにすすめてください。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

< ほかにすること >

この本のことをくりかえし話題にしましょう。

自分ならどんな小さなそりを作るか、お子さんに考えてもらってもいいですね。どんな材料をお子さんは使うでしょう。